

一般財団法人 研究学園都市コミュニティケーブルサービス
第42回 放送番組審議会 議事録

- 1 日 時 令和4年3月18日(金) 11時00分～
- 2 場 所 ACCS3階会議室(対面とリモートのハイブリッド会議)
- 3 出席者 中山伸一会長(リモート参加)、生田目美紀委員(リモート参加)、馬場清康委員、鷺田美加委員、石塚敏之委員、勝村英樹委員(リモート参加)、松坂秀幸委員(リモート参加)

【ACCS】

高田理事長、金谷副理事長、梅原理事、小平理事、森放送部次長、小野放送部次長、

4 議案の審議経過等

- (1) 会議に先立ち、定足数の確認を行い、出席委員(リモート含め)は7名全員であることから、放送番組審議会規定第4条1項の規定により、本審議会は有効に成立していることを確認した。
- (2) また、議事に入る前に、新任の松坂委員から挨拶があった。続いて、高田理事長からは①コミュニティチャンネルの新番組②動画配信の進化③テレビ放送の同時配信④多チャンネルの加入者減少—の4点が説明された。
- (3) 中山会長の進行で議事に移り、昨年開催(書面開催)した第41回放送番組審議会の議事録の内容を確認(議事1)。続いて、令和3年度に制作・放送した中から①まーごんそとあそび(ハイキングの回)②ウィークリーACCS(聖火リレー)③ACCSアーカイブ(観光都市としてのつくば)④特別番組(Music Wave at にれ工房)の4番組のVTR(10分)を上映した後、「ACCSコミュニティチャンネル放送について」(議事2)、「多チャンネル放送番組等について」(議事3)を説明し、意見交換した。

5 意見交換

勝村委員

新番組の「まーごんそとあそび」は、自然がよくわかり、コロナ禍で外に出掛けられない中で、非常にいい番組。「ウィークリーACCS」で取り上げた東京2020オリンピック聖火リレーは、宇宙飛行士など有名な方がランナーとして出ており、そこにスポットを当てて放送されたことがよかった。「ACCSアーカイブ」は、1990年に放送

された番組で、この頃からつくばの観光はいろんな課題が出ていたことを改めて認識した。観光協会を設立して今後の観光についていろいろな取り組みを行い、今では“自然と科学”などをテーマとして、人を呼び込んでいることがうかがえた。音楽の特別番組に関しては、コロナ禍で演奏の場が設けられないことがあるので、こういった機会に放送することは素晴らしかった。

多チャンネルについては、お客様のニーズに合わせて番組を入れ替えていることはありがたい。(競争相手の) Netflix と争うのではなく、連携との説明を聞いたが、そのような取り組みを行って加入者を増やしてほしいと思った。

石塚委員

ユーザーのライフスタイルが大きく変化し、メディアが技術を駆使している中で、ACCSは地域の中で存在感をアピールすることが大事。つくば市は市場としての拡大は期待でき、ACCSでなければ体感できないメッセージを伝えていくかが課題になる。

「まーごんそとあそび」は、「こんな楽しみ方があったんだ」と、(ロケ地に)おにぎりを持って出掛けてみたい気分させていただいた。「ウィークリーACCS」のつくばの聖火リレーは、コロナ禍でなかなか見られない映像を見せていただいた。「ACCSアーカイブ」では、つくばがすごく変化していることが分かり、ACCSが保有する歴史や景観、まちづくりなどの映像資源を活用して、つくばの変化とこれからどうしていくかを提案する番組を提供してくれると嬉しい。“ニッチ”な市場でどう生きていくかというとき、小中学校の陸上競技大会やスポーツ大会があるが、いろんな制約があってみられない方が多い。このような大会を放送していくと、ACCSが地元を常に伝えているイメージになる。GIGAスクール構想で、学校はいろんなメディアを活用しながら子供たちが主体的に取り組んでいる例がある。そことタイアップして、番組制作の負担を軽くしながら、教育の実態が伝わる部分を番組に入れられないか。

いずれにしても、大変工夫されている番組構成で敬意を表するとともに、私たちにワクワクするような映像をお願いしたい。

松坂委員

地域密着というか、共感性というか、私どもにはできない部分でもあるし、地域のメディアとしての強みもあり、地域の皆さんに寄り添った情報発信をされている。大きな武器はコミュニティチャンネルで、ケーブルテレビでしかみられないというところで、いろんな情報をきめ細かく紹介されているのは魅力であり、大きな強みだと思う。世の中には情報があふれていてネットやTwitterなど、いろんな形で情報が取れるようになり、発信もできる。すべての国民が放送局といっても過言ではない状況だが、独自性とか、他ではみられない情報は強みで、大事にしなければならないし、まさに実践されている。

拝見した番組では、東京2020オリンピックの聖火リレーで毛利衛さん、加藤澤男さんが出て、特別番組でも音楽を素晴らしいレベルでなさる方がおり、つくばエリアの

人の多彩さがわかる。放送の原点は人だと思っている。多彩な方がACC Sを支えるのは大きな強みで、地域の人に寄り添って多くの人に登場していただくのが大事だ。コロナの出口が見えない状況で、直接会う機会がないので、ぬくもりへの欲求が高まり、いろんな方の思いを紹介するニーズが高まっている。

鷺田委員

時代の変化を強く感じており、ACC Sの存在意義や求められているところが明確になってきている。具体的な変化として、世帯人数はこの50年間で5・0人から2・5人と半減。共稼ぎ世帯が増え、おひとり様の時代が確実に到来している。そのよう中で、地域のつながりを作り続けることが大切で、ACC Sはそこを担っている。今後も、情報発信と情報共有を通して、地域のつながりづくりをお願いしたい。

「まーごんそとあそび」は、外遊びなのにまったりして癒し番組として楽しませていただいている。番外編で昆虫食を食べるというのがあり、私の知らない情報だったのでみていて良かった。「ウィークリーACC S」は聖火リレーという特別番組。ランナーから話を聞いたことがすごく良かった。1週間放送される番組なので取材される側もうれしい。何回も放送することはメリットがあると感じる。「ACC Sアーカイブ」は、その時代の考え方などを聞くと、今に役立つことがとても多い。特別番組については、アーティストは発表の場がなくなって苦勞しており、このような仕掛けに尽力しているのは嬉しく思う。「市長が語る」だが、YouTubeに上がっていない。市民が市長の考えを聞けるのはありそうでないので、「市長が語る」をYouTubeに投稿し、市民に何度もみていただきたい。

市民と連携した番組づくりは、地域とのつながりづくりという点で大切だと思った。市民が持ち込む「完パケ」を増やした番組づくりを長期的に考えてほしい。

生田目委員

市役所の市民活動課や観光推進課とパイプを太くすれば、良い情報が取れると思った。新しいターゲットとしてはお年寄りで、どこに引っ越すかを選ぶときにお年寄りのつながりがあるところを引っ越し先に選んでいるので、そういう切り口もあると思った。

(この後、退席)

※以下は、後日寄せられたコメントです。

■コミュニティチャンネルについて

地域の皆さんが必要としている情報はもとより、新番組や特集など番組構成も大変く付されていると感じた。特に、新型コロナウイルス感染防止を踏まえた無観客コンサートの配信、「まーごんそとあそび」はコロナ禍でも良い番組を制作していこうという姿勢が素晴らしいと思った。「まーごんそとあそび」の小町の里編を拝見し、実際に小町の里に出掛けてみた。『番組をみて』→『興味を持って』→『実際に出掛ける』という、地域密着型の番組の良さを肌で感じた。

つくば市は、科学技術から自然探索まで幅広い観光資源が豊富。しかし、プロモーシ

ョンがあまり上手ではないといわれている。もっと広く発信するためにはSNSが有効だという意見をよく聞く。ACCSもYouTubeやTwitterなどに取り組んでおり、推しの番組は日本語のクローズドキャプションを入れていくと良い。

■多チャンネル放送について

番組構成やBS3チャンネルの追加など、魅力的なサービスを目指していると思う。また、ドイツ・イタリアなどの世界の番組も導入して行こうというお考えも伺い、大変素晴らしい。

馬場委員

ACCSは地域密着というのが一番の存在意義で、現在の地域と過去の地域とで、それぞれ取り組みをされている。「まーごんそとあそび」について、撮影した場所に行きたいと思ったときにネットなどで調べなくてはならないので、行き方とか駐車場の場所などの情報を入れてもらいたい。「ACCSアーカイブ」は、ACCSの一番の強み。当時の出演者に「今聞いてみたい」など、そういう場面がフォローされていると、流しっぱなしではないアーカイブになる。以前放送していた中につくば国際音楽祭があった。当時のつくば市は公金をかけても文化を導入しなければならないという時代だったので、上からふかんしたコメントがあると番組がいきってくる。「市長が語る」でセンタービルリニューアルの話をしているが、以前放送したセンタービルの特集を結び付けると分かりやすいと思う。

ACCSはNHKみたいな速報性がないので、どのようにしていくか考えてみてはどうか。また、特別番組で放送していた音楽番組は、音が割れていて平面的で悪かった。今後はミキサーなどを通して音を改善してほしい。

中山会長

聖火リレーのニュースは、良い番組だったと思うが、20人ぐらいの方が参加しているので、参加者のリストを画面に出してもよかった。「ACCSアーカイブ」については、私が会長に就任してから「アーカイブは重要」と言ってきており、それを基に番組を作り上げていることは良いことだと思う。そのあとのステップが重要で、例えばテーマは同じで同じことを今放送したらどういう番組が作れるか、との視点で考えてもいいのではないかと。音楽の特別番組は音がこもった感じで残念だった。

中山会長（総括）

本日は貴重なご意見等をいただきまして誠にありがとうございました。このような状況だからこそ、様々な側面からの対応のための情報が必要になる。ACCSの持つ地域発信の情報というのが重要な役割を持つことを自覚して、よりよい番組編成と提供を行っていただきたい。